

令和6年度 横浜市つたのは学園 事業報告

令和6年度は、新たに3名の特別支援学校卒業生を迎えることとなりました。一方、1名が他県の入所施設への移行により退所されました。

運営面においては、8月上旬に利用者・職員の新型コロナウイルス感染の発生をみましたが、その後は目立った感染ではなく、各種行事・委員会活動等はほぼコロナ以前の水準に戻すことができました。

一方、職員体制については、年度当初の異動はなく、7月に非常勤職員1名を正規職員に採用する等、年度前半は落ち着いていましたが、後半は職員の個別の事情による休職等があり厳しい状況となりました。

1. 重点目標について

年度当初の重点目標は下記のとおり。

(1) 「豊かな未来を見据えた支援」の取組み

利用者が18歳から74歳という幅のある年齢の中、令和5年度に策定した「豊かな未来を見据えた支援」の方針のもと、年齢や個々の利用者の特性に合わせたプログラムを提供する。また、充実した日中活動を過ごせるよう利用者が主体となる支援を提供していく。

(2) 職員体制の整備と育成強化の取組み

中長期的な運営体制を念頭に置き、バランスの取れた職員体制の構築を目指して行く。支援会議（支援員全体会）、班会議及び各種委員会が適切に連携・情報共有し、利用者一人ひとりの可能性発揮をエンパワーする支援に取り組む。また、そうした場が効果的なOJTの場となるような組織運営に努める。

(3) 長期的な運営を視野に入れた事業展開と管理体制構築の取組み

令和6年度は第2期指定管理の折り返しの年であり、第3期受託を視野に入れた管理体制の構築が課題である。これまで必要に迫られての人事が行われてきたが、法人として長期的な観点に立った方策を講じてきたとは言い難い。こうした中につつも、これまで努力を積み重ねてきた実績を踏まえつつ、第3期受託に向けた運営体制の整備について法人と連携しながら取組んでいくこととする。

2. 管理運営面について

(1) 施設管理

- ① 横浜市長津田地区センターとの合同会議を毎月定例で行い、複合施設としての円滑な運営に努めた。
- ② 懸案となっていた横浜市長津田地区センターと共に高圧電気設備更新工事について、横浜市建築局の入札において選定された工事業者により、令和7年2月22日（土）に工事を行った。
- ③ 複合施設の正面入り口自動ドア及び当施設入り口自動ドアの更新工事を実施した（令和7年1月：814千円）。

(2) 職員体制

- ①職員 1 名が、全国社会福祉協議会会長より永年勤続功労表彰を受賞した。
- ②非常勤職員 1 名を、正規転換（支援員）した。
なお、人材確保のためには求人サイト等も活用し、採用に向けて隨時対策を行ったが、新たな採用には至らなかった。

(3) 医務

- ①主任看護師において日常的な利用者の健康管理を実施するとともに、「保健だより」を毎月発行した。
- ②嘱託医（みどりの家診療所・三宅捷太医師）により月 1 回の定期的な健康相談日を設け、必要に応じ保護者等も交えた支援を行った。
- ③口腔衛生について、心身障害児総合医療療育センター（板橋区）歯科医による歯科検診を行った（5 月 17 日）。

(4) 各種会議・委員会

各種会議・委員会関係についてはコロナ禍を経て再起動を行った。定期的に会議を開催し、活発に意見交換することで、職員の役割意識の向上や外部関係機関との関係づくりにつながった。

① 会議

- ・グループ会議　日々の活動の基礎単位
となる 3 つのグループが、それぞれ、隨時、情報共有・課題調整を行った。
- ・支援会議　　3 グループ間相互の情報共有・全体調整のため毎月 1 回開催した。
- ・職員会議　　正規職員全員による会議を毎月開催し、運営上の種々の情報・動向の共有、各委員会の報告、スケジュール確認等をきめ細かく行った。

② 委員会

- ・権利擁護・虐待防止・身体拘束等廃止・適正化検討委員会
- ・地域交流委員会　　・利用者旅行委員会　　・つたのは祭り委員会
- ・給食委員会　　・環境整備委員会　　・広報委員会
- ・グループホーム委員会　　・自主製品プロジェクト

(5) 指定管理業務

- ①横浜市事務調査 7 月 17 日（水）9:00～16:30
- ②令和 7 年度予算ヒアリング 8 月 7 日（水）9:00～10:30 市庁舎

(6) 財務・会計業務

- ①職員体制が厳しくなったことから、人員配置体制加算において、通算で 3 か月について体制加算Ⅱを満たさない結果となり、体制加算Ⅲに変更した。
- ②会計経理事務の適正な執行のため、隔月で西迫会計事務所の巡回相談を受けた。

(7) 災害対策

- ①緑区社会福祉協議会福祉施設等分科会による「災害時情報共有回覧板」の取組みに参加（8 月）
- ③長津田地区センター合同避難訓練 9 月 9 日（月）・3 月 10 日（月）10:30～11:15
- ④福祉避難所運用
 - ・情報共有システム活用訓練参加（8 月）

・緑区福祉避難所連絡会出席 12月13日（金） 緑区役所

3. 支援面について

(1) 支援方針について

- ① 「豊かな未来を見据えた支援」の方針のもと、利用者の全体像を把握すると共に、その人のストレングスに視点を置いた支援を心がけた。
- ② 毎朝の打ち合わせにおいて、利用者の状況や家族からの情報についてきめ細かく共有するとともに、インターネットを利用した職員相互の情報交換を積極的に行った。

(2) 日中活動について

- ① 利用者の状態像に合わせ、3グループ編成で日々の活動を実施した。
- ② 健康活動、受注作業や「自主製品プロジェクト」の取り組みにより、個々の利用者に応じた幅広い支援メニューを提供することができている。また、工夫を凝らした製品づくりが評判を呼び、地元中学校や支援学校等における販路拡大に繋がっている。
 - ・緑区役所での販売プロジェクト「みどりハートフルマーケット」に定期出店した（第1月曜・第3金曜）。
 - ・偕恵シグナル・もみじマーケットに出店 10月19日（土）
 - ・あおば支援学校「あおばフェスタ」に出店 11月1日（金）
 - ・田奈中学校「ふれあいの集い」に出店 11月2日（土）
 - ・いわまワークス・わくわくマーケットに出店 11月9日（土）

【上半期工賃】

- ・支給合計額 527,904円
- ・最高支給額 12,384円 (129日×96円)

【下半期工賃】(支給日はR7、4月)

- ・支給合計額 1,567,869円
- ・最高支給額 37,125円 (125日×297円)

- ③ よこはま障害者共同受注総合センター・わーくるに事業所登録を行った（6月）。また、わーくるより、当学園の自主製品プロジェクトの取組みについて研修視察の依頼があり、受け入れを行った。 3月5日（水）

(3) 余暇活動支援について

- ① 意思決定支援の観点から、毎月、利用者会議を開催し、工賃により買い物や飲食のための外出機会を設けた。
- ② 富士五湖方面への日帰りバス旅行を実施した。（3月）

(4) 行事関係について

コロナ禍にあって十分に行えなかつた季節の行事に趣向を凝らして実施し、日々の活動に彩りを添えた。

- ・新人を祝う会 7月10日（水）
- ・ミニ縁日 8月17日（土）
- ・芋ほり 11月13日（水）（J A横浜田奈支店の協力により）
- ・つたのは祭り 11月16日（土）長津田小学校・長津田地区センターと同日開催

(5) 権利擁護・虐待防止について

- ① 毎朝のミーティングにおいて、呼称・言葉遣いについての注意喚起を欠かさず行つ

ている。

② 権利擁護・虐待防止・身体拘束等廃止・適正化委員会において、年間を通したチェックリスト実施・振り返り・研修等の計画について検討を行った。

・第1回施設内研修 虐待事例検討 8月29日（木）

・第2回施設内研修 虐待防止マニュアル研修 12月26日（木）

・第3回施設内研修 虐待防止振り返りアンケートグループワーク 3月6日（木）

③ 必要時に身体拘束を実施してきた利用者（1名）については、実施状況の検証の結果、今年度上半期をもって解除することとした。

④ 当施設の実情に適合した虐待防止マニュアル策定した。（1月策定）

⑤ 定期的にYネットオンブズパーソン（2名）の訪問を受け、視察・意見交換を実施した。

(6) 専門機関等との連携について

横浜市発達障害者支援センターからの定期的助言等を受け、個々の利用者にあった自立課題や機能維持のプログラムの提供を行い、支援力向上を図った。

【対象者】 4人

(7) グループホームのバックアップについて

つたのは学園利用者が多く入居する偕恵シグナルグループホームと情報共有し、必要な応援を行うことで支援充実を図った。

(8) 日中一時支援事業について

日中一時支援事業のニーズは漸増している状況にある。極力受け入れを行い在宅支援の一助とするため、安全性や職員体制を調整し、概ね利用希望を受け入れることができた。（登録利用者数 29名）

(9) 法人内事業所間交流について

偕恵シグナル職員（共同生活援助課長他3名）の訪問を受け、日頃の当施設における取り組みの説明及び意見交換を行った。（7月18日）

4. 人材育成・研修

① 個人情報保護研修 4月4日（木）【講師】施設長 【対象】全職員

② 新入職員親睦会 7月18日（木）いわまワークス 1名

③ 強度行動障害支援者養成研修実践編

7月30日（火）～31日（水） ウィリング横浜 1名

④ 障害福祉報酬改定勉強会 8月28日（水）Zoom 1名

⑤ 横浜市相談支援研修Ⅰ 9月10日（火） ウィリング横浜 1名

⑥ 中山みどり園自閉症研修

中山みどり園が毎月実施する自閉症研修に若手職員2名が参加した（ファシリテーターとして主任が同席）

5. 計画相談支援事業について

① 「相談支援事業所つたのは」では、法人内のシグナル相談支援事業所と連携し、質の高い支援に努めた。【契約者数】27人

② 地域の自立支援協議会に参加するなどにより、関係機関等との連携強化と情報交換を

行った。

6. 家族との関係について

- ① 家族会については令和 6 年 3 月をもって解散した。利用者の状況を家族にお伝えし、意見交換を行う報告会を実施し、好評を得た。

10 月 25 日（金）13:30～15:00

3 月 28 日（金）13:30～15:00

- ② 「利用者およびご家族の皆様へお知らせ」を毎月発行した。

7. 地域との交流及び公益的な取組みについて

- ① 田奈中学校「あすなろ会」（福祉活動）との交流・福祉啓発 7 月 22 日（月）

参加：生徒 4 名、教員 1 名 知的障害について説明・車いす体験

- ② 長津田小学校 80 周年記念事業実行委員会出席 施設長 12 月 17 日（火）

開催予定日は令和 7 年 11 月 29 日（土）

- ③ 「ココロはずむアート展 PART14」への参加・出品

緑区・青葉区・都筑区の 15 事業所による作品巡回展に出品 20 名

・カブカブ川和 11 月 5 日（火）～12 月 21 日（土）

・都筑区子育て支援センター・ポポラサテライト 1 月 11 日（土）～2 月 15 日（土）

・都筑区民文化センター・ボッシュホール 3 月 16 日（日）～3 月 31 日（月）

シニアボランティアの方に自主製品制作に協力を得ている。5 名

- ④ 施設開放

・地域で活動する団体に施設の一部（ホール・園庭）を土・日開放 3 団体

・近隣保育園への園庭開放（平日）

- ⑤ 教育実習生等の受入れ

【学校関係】

・東京未来大学 4 年生（女子） 7 月 2 日（火）～18 日（木） 12 日間

・田園調布学園大学 4 年生（男子） 8 月 6 日（火）～22 日（木） 12 日間

・日本体育大学 1 年生（女子） 9 月 4 日（水）～20 日（金） 12 日間

・田園調布学園大学 3 年生（男子） 2 月 4 日（火）～18 日（火） 12 日間

【企業関係】

・神奈川銀行新入行員 2 名 8 月 1 日（木）